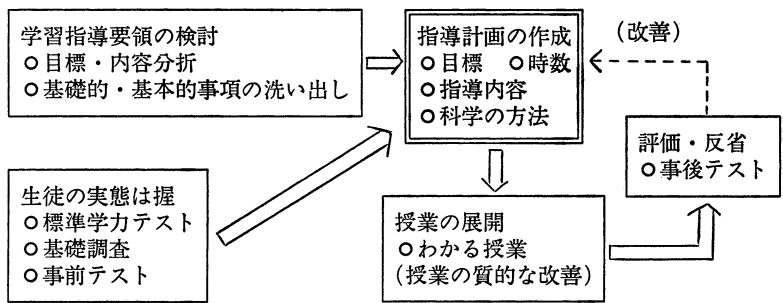


- 現の中心は各教科の授業にあるという理解を第一として、次の成果と反省が上げられる。
- ① 基礎調査や事前テストなどにより生徒の実態を把握し、これをもとに指導計画を改善する手だてが定着した。
 - ② 指導目標達成のため、基礎的、基本的事項を明らかにして授業に取り組む姿勢が確立されてきた。

資料3 指導計画の作成手順

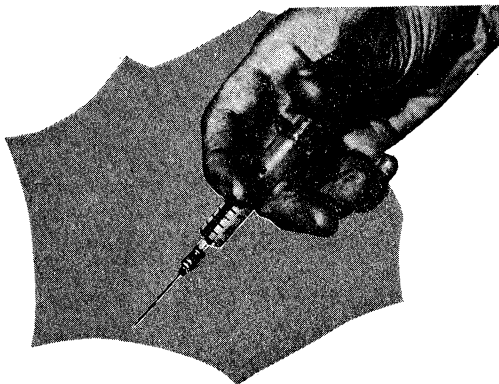


基本的指導過程

段階	主な意図
(基礎確認) 課題把握	(学習の前提条件の強化) 事象を示し観察させる。学習課題を設定させる。
課題解決の見通し	課題解決の構想を工夫させる。解決に役立つ情報を収集させる。
課題解決	課題を解決し、過程結果を吟味させる。新しい論理・技術・表現を確認させる。
整理発展	既存の論理・技術・表現へ統合させる。新しい問題への発展を図らせる。

- ③ 問題を自分のものとしてとらえ、その解決に向けて、自ら解決のしかたを考えたり、友人とともに考えたりする態度が身についてきた。
- ④ 基礎調査や事前テストを実施する時間及びその結果に基づく前提条件補強の学習(フィードバック)時間を指導計画に明らかにする必要がある。
- ⑤ 基礎的・基本的事項において、情意にかかわる事項をもっと重視していかなければならない。

1度の好奇心が
わが身をそして家庭を崩壊させる



麻薬・覚せい剤撲滅運動

10月1日～11月30日

10月1日は「法の日」です

——法まもる——

心が築く

よい社会——

